

## ポリファーマシー研修会事業

○令和元年度から毎年、医師、薬剤師、看護師等の多職種を対象とした研修会を開催  
 （共催：福岡県薬剤師会、福岡県病院薬剤師会、後援：福岡県医師会）。

○令和6年度開催概要

- ・日時 令和7年1月18日(土)15時～17時
- ・場所 TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール メインホールA  
 （福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館 16階）
- ・医師、病院薬剤師、薬局薬剤師から取組事例や日本老年薬学会のトピックに関する講演を実施。
- ・各団体の認定単位付与。参加費無料。

～医師の立場から～

第1部 15:00～15:45



「Multimorbidityの処方箋」

竹屋 泰 氏

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻老年看護学 教授

～病院・薬局薬剤師の立場から～

第2部 16:00～16:30 「高齢者総合機能評価を考慮した  
 ポリファーマシー対策」



溝神 文博 氏

国立長寿医療研究センター 薬剤部  
 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室 室長

16:30～17:00 「多職種連携で取り組む  
 在宅ポリファーマシー」



前地 香奈子 氏

株式会社アガベ 在宅担当

参加者職種・勤務先内訳

その他(看護師、  
 保健師、管理栄  
 養士、医療事務)  
 5%

医師  
 3%

薬剤師(企  
 業、その他)  
 5%

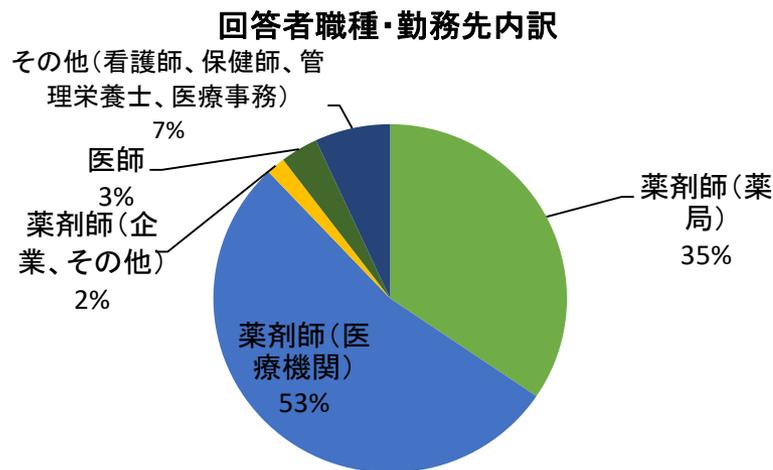
薬剤師(医療  
 機関)  
 47%

薬剤師(薬局)  
 40%

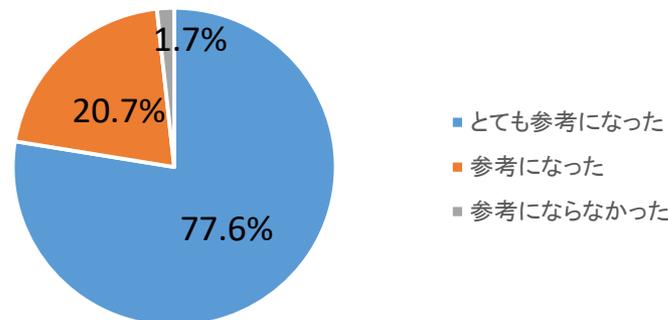
参加者計85名

## ポリファーマシー研修会事業

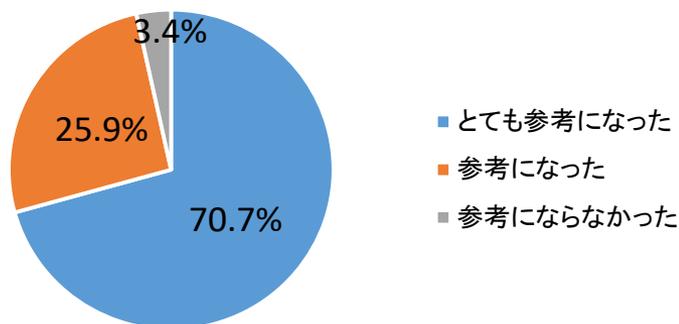
- 昨年同程度の参加者数だった。内訳として医師、病院・薬局薬剤師に加え看護師、保健師、管理栄養士等少数ではあるが多職種参加が得られた。
- 当日、アンケート(書面・WEB)を実施したところ、58名から回答を得た(回答率68%)。結果、各テーマについて「とても参考になった」又は「参考になった」の回答が9割を占めた。



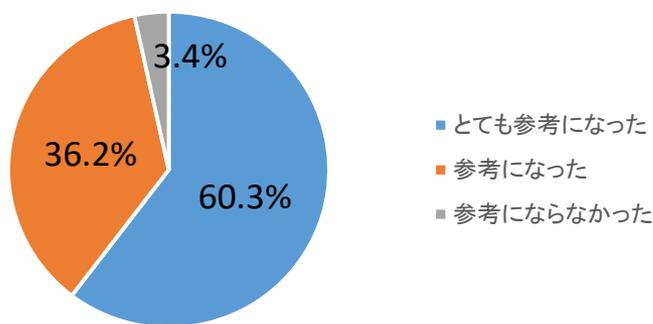
「Multimorbidityの処方箋」  
(医師:竹屋先生)はいかがでしたか？



「高齢者総合機能評価を考慮したポリファーマシー対策」  
(病院薬剤師:溝神先生)はいかがでしたか？



「多職種連携で取り組む在宅ポリファーマシー」  
(薬局薬剤師:前地先生)はいかがでしたか？

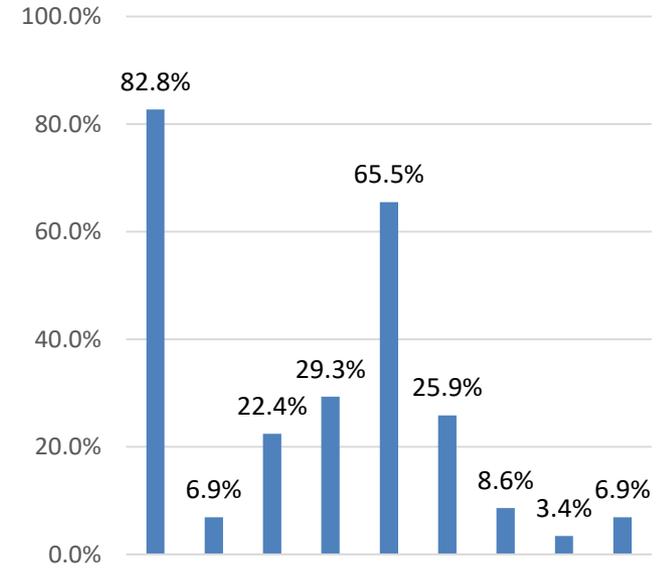


# ポリファーマシー研修会事業

○ポリファーマシー対策に関する取組についてお薬手帳の活用を筆頭として、多くの取組みを実践していることが伺えた。

## 職場において、ポリファーマシー対策に関する取組として実施しているもの(複数選択)

	回答 件数	割合
お薬手帳の活用	48	82.8%
電子処方箋の活用	4	6.9%
トレーシングレポート等を利用して医師へ情報提供、処方提案	13	22.4%
退院時薬剤情報提供による薬薬連携	17	29.3%
残薬確認	38	65.5%
多職種連携(処方検討会、カンファレンス等の開催・参加)	15	25.9%
処方適正化のためのスクリーニングツールの活用	5	8.6%
患者啓発資材の活用	2	3.4%
その他	4	6.9%
未実施	3	5.2%



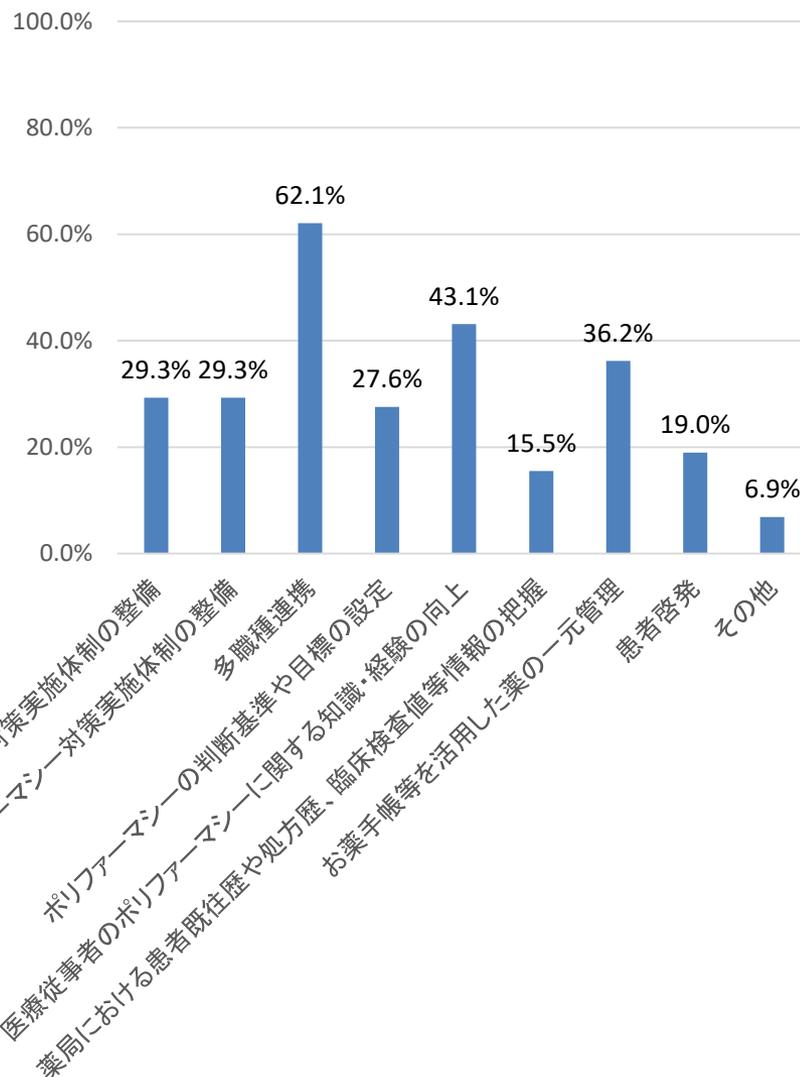
お薬手帳の活用  
 電子処方箋の活用  
 トレーシングレポート等を利用して医師へ情報提供、処方提案  
 退院時薬剤情報提供による薬薬連携  
 残薬確認  
 多職種連携(処方検討会、カンファレンス等の開催・参加)  
 処方適正化のためのスクリーニングツールの活用  
 患者啓発資材の活用(具体をご記入ください)  
 その他(具体をご記入ください)

# ポリファーマシー研修会事業

○多職種連携、医療従事者向け啓発、お薬手帳等を活用した薬の一元管理が必要と感じている参加者が多かった。

## 県内のポリファーマシー対策に関する取組促進のために、特に必要だと思うこと3つ

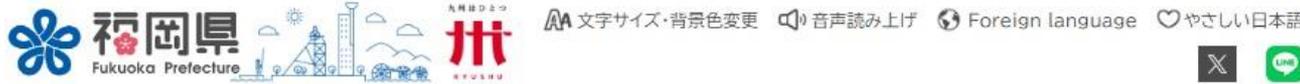
	回答件数	割合
所属内のポリファーマシー対策実施体制の整備	17	29.3%
地域におけるポリファーマシー対策実施体制の整備	17	29.3%
多職種連携	36	62.1%
ポリファーマシーの判断基準や目標の設定	16	27.6%
医療従事者のポリファーマシーに関する知識・経験の向上	25	43.1%
薬局における患者既往歴や処方歴、臨床検査値等情報の把握	9	15.5%
お薬手帳等を活用した薬の一元管理	21	36.2%
患者啓発	11	19.0%
その他	4	6.9%



# 福岡県における取組について

## ポリファーマシー研修会事業

○YouTube上でオンデマンド配信を2月末まで実施中。再生数等を後日分析する。

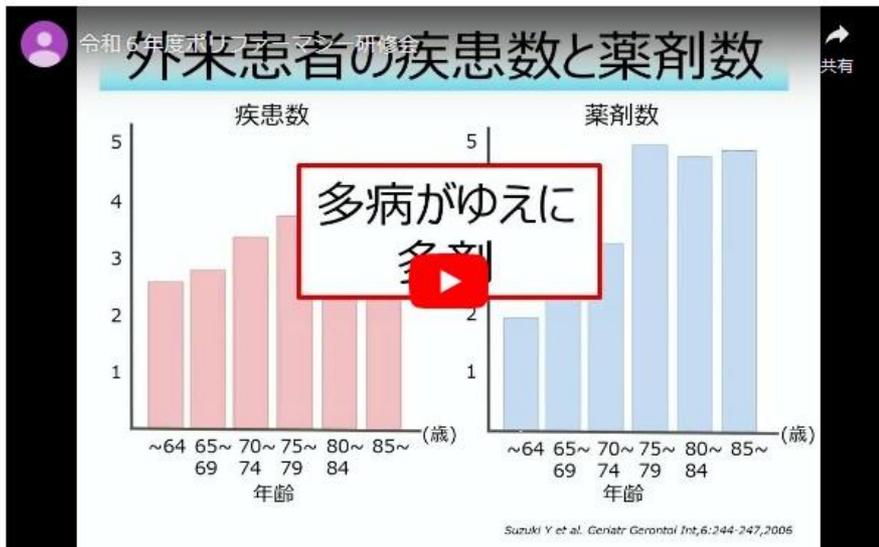


トップページ > [健康・福祉・子育て](#) > [医療](#) > [資格・試験・講習\(医療、看護\)](#) > 令和6年度ポリファーマシー研修会を開催します(2/28までオンデマンド配信中)

トップページ > [健康・福祉・子育て](#) > [医療](#) > [薬局、医薬品・医療機器](#) > 令和6年度ポリファーマシー研修会を開催します(2/28までオンデマンド配信中)

令和6年度ポリファーマシー研修会を開催します  
(2/28までオンデマンド配信中)

更新日:2025年1月27日更新 印刷 X Line



情報が見つからない時は

重要なお知らせ

[税務システム障害の復旧について](#)

このページを見た人は  
このページも見ています

[インフルエンザの流行状況についてお知らせします\(警報の基準値を超えました\)](#)

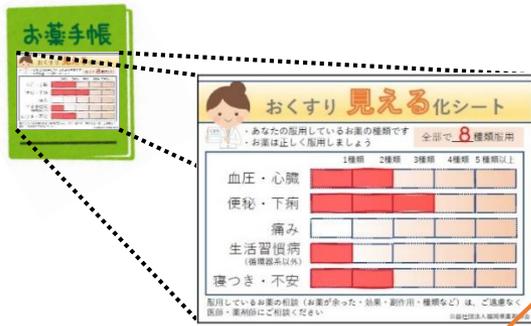


<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/iyakuhinn-tekiseishiyou-kenshukai-r06.html>

## おくすり見える化シートの検証事業(再掲)

### 《令和6年度の取組み》

- 実施方針: 令和5年度に本協議会に諮ったおくすり見える化シートを活用し、**薬局での実質的な実施期間がより長期になるよう実施**する。
- 対象、規模: 県内4地域(北九州、福岡、筑後、筑豊)から各地域20薬局、合計80薬局程度、追跡する患者数1薬局あたり10人、合計800人程度を想定(令和5年度と同規模、同一薬局又は新規協力薬局)
- フロー中相違点: **効果がより確認しやすいよう対照群を設定**(おくすり見える化シートを使用しない群)し、患者ヒアリング等を通じ減薬の服薬の適正化(減薬等)に繋がったかを測定する。
- 学術的な場での公表も検討。



今年度はおくすり見える化シートを使用しない群も加え、効果を検証する。

### 「見える化シート」事業の活動フロー

